

「透析外出に必要な準備と生活行為動作を獲得した事例」

対象者：70代男性、要介護認定なし、利用期間18日間

経緯：腎機能の低下により全身倦怠感が出現し病院に入院。透析導入となった。今後は週3回（月・水・金 10時～15時）での透析を予定し、透析日に合わせた外出準備練習を希望。

目標
・内服薬を自分で飲めるようになること ・体調を安定させること ・トイレへの習慣が身に付き、パッドの汚染時に自身で交換ができること ・口腔ケアを習慣化すること ・透析日の外出に向けた準備ができること ・電子レンジの操作や食事の準備を行えること
利用中の取組
・卓上に内服時間を示したBOXを設置し、声かけしながら内服への意識を高める ・透析がない日は体操などの運動機会を確保 ・自宅を想定しながら、規則正しい生活を送る ・毎食後のトイレ誘導 尿汚染に合わせてリハビリパンツの交換動作の練習 ・毎食後に口腔ケアを行うよう声かけ ・透析通院日に向けてタイムスケジュールを作成し、外出準備（起床・排泄・食事・口腔ケア）を職員と共に行う。朝食時は電子レンジで対応できる腎臓食の配食弁当を提供する。通院前日に保険証や診察券、財布等受診時に持参する物品の準備の確認 ・電子レンジの操作方法を説明し、食事時に繰り返し実践していく
結果
・内服が確実にできるようになり、体調も安定していた ・パッドの尿汚染はあるものの頻度は徐々に減少した。汚染時も自分で交換が可能に ・口腔ケアの習慣は少しずつ身に付きはじめたが、声かけが必要な場面もある ・透析日の外出に向けた準備ができるようになった ・電子レンジの操作が可能となり、食事の準備ができるようになった
退所後の様子
・自身で外出準備を行い、透析に遅れることなく通院できている ・内服薬の飲み忘れはなく、体調は安定している ・尿汚染があっても自分で交換および廃棄ができている ・口腔ケアは声かけがないと忘れてしまうことが続いている ・透析日の予定に合わせて行動できている ・電子レンジなどを使って、日々の食事の準備を行っている